

SYLLABUS (音楽I)

単位数	2	履修学年	1年	履修学科	普通科・工業科
使用教科書	MOUSA 1 (教育芸術社)				
学習の目標	音楽の幅広い体験を通して、音楽のよさや美しさに対する理解を深め、表現技術を高めながら、音楽の楽しさに触れさせる。		授業の概要	中学校で学習した内容の復習をしながら授業を進める。歌唱・器楽・創作及び鑑賞について、基礎的理解や表現力の向上を目指す。 必修選択科目 音楽・美術	
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1学期	歌唱			<ul style="list-style-type: none"> ○素直な発声で歌唱し、声で自由な表現をすることができる。 ・呼吸法、共鳴、口形など発音の基本を理解する。 ・言語の特徴を理解し、それぞれの特徴を活かした発声で歌唱する。 	
2学期	ギター奏、創作			<ul style="list-style-type: none"> ○ギターの基本的奏法に基づき演奏できる。 ○拍子や基本的なリズムパターンを理解して演奏できる。 ・ギターで旋律、和音を演奏する。 ・楽器の仕組みや、歴史的背景を理解して鑑賞する ・4小節程度のリズムパターンを創作し、演奏することができる。 	
3学期	鑑賞、和楽器、合唱			<ul style="list-style-type: none"> ○楽曲の特徴を主体的に考え、鑑賞できる。 ○曲の構成や、曲想を把握した表現を工夫することができる。 ・歌詞と曲想について理解できている。 ・楽曲のテクスチャを感じて合唱する。 	
評価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	音楽を形づくっている要素を知覚し、思いや意図を持って、創造的な音楽表現をする。			<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験 ・学期末に行う確認テスト ・ワークシート ・グループワーク ・発表資料
	思考・判断・表現	自己の解釈やイメージを表現するための技能を身に付け、それを生かして創造的に表現する。			
主体的に学習に取り組む態度	歌詞や音程の確認、楽器の指使い等について、授業で学んだことを復習したり、自主的に練習を行ったりすることで、技術の定着を図る姿勢。				
学習アドバイス	<p>○授業の取組 中学校音楽で学習した表現や鑑賞の知識・能力をさらに伸ばしていくことを目標にしています。したがって、今まで以上に意欲をもって授業に臨むことが大切です。また、音楽のよさや美しさを深く味わうために、教科書に掲載してある様々な作曲家の作品についても理解しようと努める必要があります。幅広い音楽の世界に興味・関心をもって取り組みましょう。</p> <p>○家庭学習 (予習・復習) 歌詞や音程の確認、楽器の指使い等について、授業で学んだことを復習したり、自主的に練習を行ったりすることで、技術の定着を図りましょう。</p>				

SYLLABUS (音楽Ⅱ)

単位数	2	履修学年	2年	履修学科	普通科Ⅰ型・Ⅱ型(文系)
使用教科書	MOUSA 2 (教育芸術社)				
学習の目標	音楽の幅広い体験を通して、音楽のよさや美しさに対する理解を深め、表現技術を高めながら、音楽文化についての理解を深める。		授業の概要	音楽Ⅰで学習した内容の復習をしながら授業を進める。歌唱・器楽・創作及び鑑賞について、基礎的理解や表現力の向上を目指す。 必修選択科目 音楽・美術	
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1 学期	歌唱 声の世界(日本歌曲、外国歌曲)			<ul style="list-style-type: none"> ○曲種にあった音色を用いて、表現することができる。 ○歌劇の歴史的背景や、登場人物の心情を理解できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸法、共鳴、口形など発音の基本を理解している。 ・舞台芸術の様々な要素を知覚して鑑賞する。 	
2 学期	器楽 楽器の表現(ギター、リコーダー)			<ul style="list-style-type: none"> ○楽器の特性とその表現上の効果を味わい、かつ楽曲の歴史的な背景を考えることができる。 ○楽器の特性を理解し、豊かな響きで演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> ・曲想について理解する。 ・楽曲の特徴をつかみ、それを生かした表現の工夫ができています。 	
3 学期	アンサンブル 鑑賞			<ul style="list-style-type: none"> ○豊かなアンサンブルのために、発声や演奏方法等を工夫できている。 ○作品の歴史的背景を感じ取りながら鑑賞できている。 <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の種類や演奏形態について理解している。 ・アンサンブルの響きを体得し、積極的な音楽づくりに取り組む。 	
評 価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を持ち、意欲的に活動しようとする。			・授業中の諸活動 プリント
	思考・判断・表現	感性を働かせて音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、創造的な音楽活動の工夫をする。自己のイメージを表現するための技能を身に付け、それを生かして創造的に表現する。			・実技試験 ・筆記試験
	主体的に学習に取り組む態度	多様な音楽の構成要素を感じ取り、歴史的背景とともに音楽の理解を深め、創造的に鑑賞する。			・課題
学習 アド バイス	<p>○授業の取組 1年次に身に付けた発声法等の表現や、鑑賞の知識・能力をさらに伸ばしていくことを目標にしています。したがって、今まで以上に意欲をもって授業に臨むことが大切です。また、音楽のよさや美しさを深く味わうために、積極的に世界の様々な音楽様式や、音楽史上の偉大な作曲家の作品についても鑑賞し、意欲的に理解しようとして努めましょう。</p> <p>○家庭学習(予習・復習) 歌唱や器楽は繰り返し練習することが大切です。家庭でも練習するようにしましょう。また、創作に関するアイデアを集めたり、自主的に鑑賞を行ったりして、予習・復習をしてください。</p>				

SYLLABUS (音楽Ⅲ)

単位数	2	履修学年	3年	履修学科	普通科Ⅰ型・Ⅱ型(文系)
使用教科書	Joy of Music (教育芸術社)				
学習の目標	音楽の幅広い体験を通して、音楽への理解、表現技術を高めながら、音楽文化に関する理解を深める。			授業の概要	これまでに学習した内容の復習をしながら授業を進める。歌唱・器楽・創作及び鑑賞について、基礎的理解や表現力の向上を目指す。 必修選択科目 古典探求・国語表現・音楽Ⅲ
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1学期	歌唱 日本歌曲、外国歌曲			<ul style="list-style-type: none"> ○言語にあった音色を用いて、豊かに表現することができる。 ○楽器の響きを感じて演奏できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸法、共鳴、口形など発音の基本を理解し、実践することができる。 ・演奏技能を向上させることができる。 	
2学期	器楽 ギター、箏、鍵盤楽器			<ul style="list-style-type: none"> ○テクスチャを楽譜から読み取り、織りなす響きを感じて演奏できる。 ○音に関心を持ち、音の性質と生活場面との相関性を考えた創作ができる。 ○自身の設定した課題に応じ、アンサンブルを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・和声の基礎を理解できている。 ・楽曲の特徴をつかみ、それを生かした表現の工夫ができる。 	
3学期	鑑賞 西洋音楽の歴史			<ul style="list-style-type: none"> ○作品の歴史的背景や、作者の意図を感じ取りながら鑑賞できる <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の持つ意味合いについて、主体的に考えることができる。 	
評価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を持ち、意欲的に活動しようとする。			・授業中の諸活動 プリントやロイロノート
	思考・判断・表現	感性を働かせて音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、創造的な音楽活動の工夫をする。自己のイメージを表現するための技能を身に付け、それを生かして創造的に表現する。			・実技試験 ・筆記試験
	主体的に学習に取り組む態度	多様な音楽の構成要素を感じ取り、歴史的背景とともに音楽の理解を深め、創造的に鑑賞する。			・課題
学習アドバイス	<p>○授業の取組 これまでに身に付けた発声法等の表現や、鑑賞の知識・能力をさらに伸ばしていくことを目標にしています。したがって、今まで以上に意欲をもって授業に臨むことが大切です。また、音楽のよさや美しさを深く味わうために、積極的に世界の様々な音楽様式や、音楽史上の偉大な作曲家の作品について鑑賞し、意欲的に理解するよう努めましょう。</p> <p>○家庭学習(予習・復習) 演奏実技、特に器楽は繰り返し練習することが大切です。基礎的な奏法について、家庭でも振り返るようにしましょう。また、創作に関するアイデアを集めたり、自主的に鑑賞を行ったりして、予習・復習をしてください。</p>				

SYLLABUS (美術 I)

単位数	2	履修学年	1年	履修学科	普通科・工業科
使用教科書	美術1 (光村図書)				
学習の目標	美術の幅広い創造活動を通して、美術のよさや美しさに対する理解を深め、表現技術を高めながら、美術の楽しさに触れる。		授業の概要	中学校で学習した内容の復習をしながら、授業を進める。絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現及び鑑賞について、基礎的理解や表現力の向上を目指す。 必修選択科目 音楽・美術	
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1学期	絵画 デザイン 絵画 鑑賞			○絵画表現の基礎を理解し、線による表現ができる。 ○デザインの基礎を理解できる。 ・形や色彩の効果を意識し、目的にあった作品制作ができる。 ○身近にあるものを見つめ直し、描く方法や材料を工夫してあらわすことができる。	
2学期	映像メディア表現 デザイン 彫刻 鑑賞			○映像メディアの特性を生かして、表現を創意工夫できる。 ○消しゴムや彫刻刀の特性を理解し、表現方法を創意工夫できる。 ○粘土の特性を生かし、立体的な表現ができる。 ・様々な角度から作品を見つめ、量感のある作品を制作する。	
3学期	映像メディア表現 鑑賞			○映像表現の特性を活用し、視点の流れや動きなど、視覚的な要素の働きについて考え、表現することができる。 ・映像表現の視覚的な働きについて考える。 ・場面のつなげ方やカットについて理解する。	
評 価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	基礎的な知識を理解し、基本的な技能を身につけ、表現方法を創意工夫している。			・授業作品 ・授業中の諸活動 ・プリント ・課題
	思考・判断・表現	豊かに思考し、自身の考えるよさや美しさがどのようなものか判断し、想像的・機能的で個性豊かな表現している。			
主体的に学習に取り組む態度	美術Iの学習に関心を持ち、意欲的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。				
学習アドバイス	<p>○授業の取組 中学校美術で学習した表現や鑑賞の知識・能力を更に伸ばしていくことを目標にしています。道具の使い方や絵の特性など、基礎的な技術をしっかりと身につけ、粘り強く製作に取り組む、作品に生かしていく力が必要です。また、他者の作品や教科書を用いて作品鑑賞を行い、美術のよさや美しさを深く味わっていきます。美術で学習したことを生かし、作品作りだけではなく、自身の生活を豊かにしていく力を養っていきます。</p> <p>○家庭学習 (予習・復習) 予習・復習をするなど、日常的に美術作品に触れましょう。予習・復習だけでなく、日常的に美術作品に触れて鑑賞することは、形の捉え方や構図の取り方、色の使い方など自らの感性を磨くことになり、授業での制作に役立ちます。</p>				

SYLLABUS (美術Ⅱ)

単位数	2	履修学年	2年	履修学科	普通科Ⅰ型・Ⅱ型(文系)
使用教科書	美術2(光村図書)				
学習の目標	美術の創造的な諸活動を通して、美術のよさや美しさに対する理解を深め、表現技術を高めながら、美術の楽しさに触れる。		授業の概要	美術Ⅰで学習した内容を確認しながら授業を進める。絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現及び鑑賞について、基礎的理解や表現力の向上を目指す。 必修選択科目 音楽・美術・ビ基	
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1学期	絵画 デザイン 鑑賞			○絵画表現の基礎を理解し、鉛筆による表現ができる。 ○色の効果を理解し、構図を工夫して、意図を伝えるための工夫ができる。 ・構図の取り方、色の使い方を理解する。 ・画面構成や効果的な色彩配置を考える。	
2学期	絵画 彫刻 鑑賞			○感じとったことや考えたことなどから主題を生成し、表現形式の特性を生かすことができる。 ○材料や用具の特性を生かして、表現方法を創意工夫できる	
3学期	映像メディア表現 鑑賞			○映像表現の特性を活用し、視点の流れや動きなど、視覚的な要素の働きについて考え、表現することができる。 ・映像表現による視覚的な働きについて考える。 ・場面のつなげ方やカットについて理解する。	
評 価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	基本的な技能を身に着け、表現方法を創意工夫している。			<ul style="list-style-type: none"> ・授業作品 ・授業中の諸活動 ・プリント ・課題
	思考・判断・表現	豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、創造的・機能的で個性豊かな表現の構想を練っている			
主体的に学習に取り組む態度	美術Ⅱの学習に関心を持ち、意欲的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。				
学習アドバイス	<p>○授業の取組 これまで学習した表現や鑑賞の知識・能力を更に伸ばしていくことを目標にしています。様々な技法を体験しながら、それらを効果的に用いる力が必要です。また、美術のよさや美しさを深く味わうために作品鑑賞を行い、思考を言語化して自らの創造の幅を広げていくことを目指しています。そのため、主体的に授業に臨むことが大切になってきます。その経験や知識を生かし、自己表現を行うとともに、生活を豊かにしていく力を身につけましょう。</p> <p>○家庭学習(予習・復習) 予習・復習をするなど、日常的に美術作品に触れましょう。授業だけでなく、日常的に美術作品に触れて鑑賞することは、形の捉え方や構図の取り方、色の使い方、アイデアの発想など自らの感性を磨くことになり、より良い作品制作に繋がります。</p>				

SYLLABUS (美術Ⅲ)

単位数		履修学年	3年	履修学科	普通科Ⅰ型・Ⅱ型(文系)
使用教科書	美術3(光村図書)				
学習の目標	美術の幅広い体験を通して美術のよさや美しさに対する理解を深め、表現技法を高めながら、美術の楽しさに触れる。		授業の概要	美術Ⅰ、美術Ⅱで学習した内容の復習をしながら授業を進める。絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現及び鑑賞について、基礎的理解や表現力の向上を目指す。 必修選択科目 美術・論表	
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1学期	絵画 鑑賞			○形、構図の工夫により起こる視覚的効果を理解する。 ○色の属性、形の印象を理解し、選んだ物の良さが他者に伝わるよう工夫できる。 ・イメージを言葉と絵を使い分けて整理したりする。	
2学期	彫刻 デザイン			○粘土の特性、色の効果を生かし、立体的な表現ができる ・色の属性、形の印象を理解し、組み合わせることによって視覚的に他者に伝える。 ・様々な角度から作品を見つめ、量感のある作品を制作する。 ○作る目的を意識して、画像、文字情報のレイアウトを工夫できる。	
3学期	映像メディア表現 鑑賞			○見ることを通じて感じたことを、言葉で表現することができる。	
評 価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	基本的技能を見に付け、表現方法を創意工夫する。			<ul style="list-style-type: none"> ・授業作品 ・授業中の諸活動 ・プリント ・予備の課題
	思考・判断・表現	豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、創造的・機能的で個性豊かな表現の構想をする。			
主体的に学習に取り組む態度	美術Ⅲの学習に関心を持ち、意欲的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとする。美術作品や文化遺産などについて興味を持ち、よさや美しさなど深く感じ取ったり味わったりする。				
学習アドバイス	<p>○授業の取組 これまで学習した表現や鑑賞の知識・能力を更に伸ばしていくことを目標にしています。様々な技法を体験しながら、それらを効果的に用いる力が必要です。また、美術のよさや美しさを深く味わうために作品鑑賞を行い、思考を言語化して自らの創造の幅を広げて行くことを目指しています。そのため、主体的に授業に臨むことが大切になってきます。その経験や知識を生かし、自己表現を行うとともに、他者にも伝える力を身につけ、生活を豊かにする力を身につけましょう。</p> <p>○家庭学習(予習・復習) 予習・復習をするなど、日常的に美術作品に触れましょう。授業だけでなく、日常的に美術作品に触れて鑑賞することは、形の捉え方や構図の取り方、色の使い方、アイデアの発想など自らの感性を磨くことになり、より良い作品制作に繋がります。</p>				